

令和7年度 政策討論会 第一分科会（第2回）要点記録

- ・テーマ ベイエリアのリノベーションについて
 - ・日時 令和7年7月8日（火）
 - ・場所 議会会議室
 - ・会議時間 10：00～10：50
 - ・出席者 岸田 厚 （座長）

 岩崎 雅秋（副座長）

 海老原友子

 昼馬 光一

 反甫 旭

 京西 且哲

 松本 妙子
 - ・欠席者 高比良正明
- * 座長、副座長以外は議席番号順
- ・決定事項 1. 次回、理事者を招聘し、現状の行政側の考えを聞いたうえで討論

 2. 招聘対象理事者

 (1) 船橋 魅力創造部長

 (2) 上東 産業政策課長

 3. 今後の討論会の予定について

次回日程 7月28日（月）10：00～ 第2理事者控室

（後日、開催場所が第2委員会室に変更となった）

- ・ 発言要旨

岸田座長

- ・ 昨年の政策討論会の到達から、今後のバイエリアの在り方について、それぞれのエ
リアの地権者が「岸和田旧港地区周辺の魅力づくり構想」に対する認識の問題があ
る。
- ・ 大阪府のバイエリア内のプロポーザルによる事業用地事業者公募の選考結果からも
「魅力づくり構想」に十分寄与するとは言えないが、という選考結果が出るなど、
今後のバイエリアのリノベーションをするについての「魅力づくり構想」がどこま
で現実的な計画なのか、そのことも念頭に置きながらの討論となる。
- ・ 討論を進めるにあたって、「岸和田ウォーターフロント連絡協議会」の問題につい
て、当局の見解を聴くことが必要であり、次回の討論会で魅力創造部からの説明を
求めることとした。

岩崎副座長

- ・ 「魅力づくり構想」の範囲は民地もあり難しい面もあるが、行政がリードすべきと
考える。また、「岸和田ウォーターフロント協議会」に「みなとオアシス岸和田」
の関連があるので漁連も入れるべきと考える。

松本議員

- ・ 商業施設が、他市に比べて、だんだん廃れていくような岸和田の現状に原因は何な
のか？と考える。福運がないのか？魅力がないのか？情熱が足りないのか？大きな
事業を成し遂げるには何が必要か？今後、皆で試行錯誤しながら、岸和田ビジョン
を検討していきたいと自分も心新たにした。

京西議員

- ・昨年度の調査を継続し、対象エリアを「岸和田旧港地区魅力づくり構想として協議することを確認する。
- ・構想の策定から約9年が経過していることから、本計画が魅力的で市民に喜ばれるものなのかを再検討すべきと考える。
- ・まずは、休止状態の「岸和田ウォーターフロント連絡協議会」を再開し、関係者の意向を確認すべきである。ついては、岸和田市が関係者との調整を早急に行うことを求めたい。

反甫議員

- ・昨年の政策討論会でも議論していたテーマであるが、行政がコミットしてどこまでできるか難しい点も多くあると考える。地理的な要因などもあるので、そうしたことをしっかり議論していきたい。

昼馬議員

- ・浪切ホール、カンカンベイサイドモール地区の活性化の件ですが、商業施設の誘致などを考えるが発想を切り替える必要があるのでは。
- ・この場所は関西国際空港と大阪との中間でもあり、一大ホテル街にするというのはどうか。

海老原議員

- ・旧港地区が活気づけば、南海岸和田駅周辺も活気づく。

高比良議員（レポート提出）

- ・カンカンの集客がベイエリアの賑わいにつながると考える。6月19日よりカンカ

ンにロピアがオープンした。どれぐらい集客力があるのか見に行ったら、開店後 1 時間から 11 時頃にはまだ入場制限している繁盛ぶりだった。一定の利用客は、ロピアだけで帰らず、飲食店や雑貨店などへも足を運んでくれると期待する。

- ・大規模なアトラクション施設などを誘致できなくとも、生活必需品を日々購入してもらえる集客施設をいくつも誘致すれば、その効果は継続すると見込める。フードコートでも、入れ替えが必要と考える。また、コスプレ撮影会は行っているのも、その延長として痛車など一定の固定ファンが集まるイベントの開催も外通路などで可能と考える。
- ・ベイエリアについては、2019 年 8 月 22 日質問で京西議員が質問し、井上博元議員も内湾へヨットやディンギーを浮かべる提案をしており、市民の健康福祉の増進や子どもたちの夢に向かって、サポートしていくべきと提案してきたが、全く進んでいない。カンカンは民間なので、市としては大きく関与できないが、市長の提唱する「日本一のスポーツの街」の言葉通り、水面でのスポーツの開催なども府と協議すべきである。